

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回緑警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年1月25日（木） 午後1時30分から午後3時30分までの間 ----- 緑警察署 講堂
出 席 者	<p>1 委員</p> <p>中島恵子 会長 川合寛志会長代行 等々力勇 委員 奥田広美 委員 貴田雄二 委員 久田孝志 委員 後藤康之 委員 岩城史憲 委員 小島崇治 委員 山田澄子 委員 濱頭みろみ委員 山口正勝 委員</p> <p style="text-align: right;">以上12名（定数12名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p>伊藤署長 本多副署長 鷲津捜査指導官 中根警務課長 堀部会計課長 坂本生活安全課長 可知地域課長 坂本刑事課長 松坂交通課長 村瀬警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上10名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p>なし</p>
諮 問 事 項 等	「地域住民に安心感を与えるパトロール」について
答 申 等 の 概 要	<p>1 地域住民と一体となったパトロール活動の実施</p> <p>2 地域住民に安心感を与える効果的な情報発信</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年4月25日(木)

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	新たに委嘱された5人の委員と、再任委員1人に委嘱状を交付した。
2	会長及び会長代行の選出等
	中島委員を会長に選出し、会長は、川合委員を会長代行に指名した。
3	会長挨拶
4	署長挨拶
5	前回の答申に対する施策の推進状況（交通課長説明）
	(1) 諮問事項
	「年末年始に向けた交通事故抑止対策」について
	(2) 答申事項
	ア 自転車利用者へのヘルメット着用及び高齢者への反射材活用等、啓発活動の強化
	イ 飲酒運転等、取締りの強化
	(3) 施策の推進状況
	ア 答申事項アについて
	○ 管内大型商業施設において、地元野球球団の選手やタレントによる自転車ヘルメット、反射材着用及び啓発イベントを実施した。
	○ 管内スーパーマーケットにおいて、反射スコープを用いた反射材着用の効果体験イベントを実施した。
	○ 保育園、中学校において交通安全講話を実施し、ヘルメット着用の啓発活動を実施した。
	○ 町内会の高齢者対象の交通安全講話を実施し、反射スコープを用いた
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
反射材着用の効果体験教室を実施した。	
○ 赤色灯を点灯した車両により、ヘルメット着用及び反射材活用等について広報するなど、啓発活動を実施した。	
イ 答申事項イについて	
○ 行政、協力団体等と一体となった立しよ活動を行い、サイン板を活用し、一般車両運転者に飲酒運転撲滅の啓発活動を実施した。	
○ 覆面車両、検問による集中取締りを実施した。12月中の飲酒違反検挙数は1件、飲酒運転に係る交通事故の発生はなかった。	
6 諮問	
(1) 諮問事項	
「地域住民に安心感を与えるパトロール」について	
(2) 諮問事項に対する説明等（地域課長説明）	
昨年、愛知県では約48秒に1件の110番通報がなされている。そのうちの約4分の1が緊急性のないものであり、警察官の事件事故への素早い対応を遅らせる一因となっており、安心、安全を見守るパトロール活動に少なからず影響が出ている状況である。犯罪、交通事故の発生状況を踏まえ、限られた人員、体制の中で、交番や警ら用無線自動車勤務の警察官が、パトロール活動を実施する上で、地域住民の方に、より安心を感じていただく効果的な活動とするため、忌たんのない御意見を踏まえ、各種活動に取り組んでいきたいと考え諮問事項とした。	
8 協議	
委員 ・ 警察官のパトロール活動を見たことがないが、ボランティアによ	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
	る青色防犯パトロール活動は、見たことがある。
	・ 以前、商業施設に、使用していない引退したと思われるパトカーが置いてあるのを見たことがある。防犯上、効果的でよいと思った。
委員	・ 昔は、警察官がよく個人宅に訪問する活動があったように思う。
	現在は、警察官による個別訪問等の活動は行っていないのか。
警察	・ 現在は巡回連絡を実施している。新型コロナウイルス感染症防止のため、活動を行っていない時期もあったが、現在は再開し、交番勤務の警察官が、地域の家庭や事業所等を巡回し、防犯上のアドバイスをしたり、要望、相談等を聴取する等、積極的に活動を実施している。
委員	・ 約30年前は、街中でパトカーが走っているのを見たことはなかった。私自身、警察のパトロール活動により助けられたと思うことはないが、最近は、街中でパトカーが走っているのをよく見掛け、その姿を見ると安心できる。ボランティアによる青色防犯パトロール活動も効果的で安心感を与える活動としてよいと思う。
委員	・ 交通取締り活動をしている警察官は、隠れて実施しているイメージがある。誰が見ても分かるような、見せる活動を実施するのが効果的だと思う。
委員	・ 自宅の空き巣被害や、会社の自動車を盗まれたことがあり、警察にお世話になったことがある。泥棒は深夜に活動していると思う。
	警察官によるパトロールだけでなく、ボランティアによる青色防犯パトロール活動を、時間帯を問わず実施すると効果的でよいと思
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
う。	
委員	・ 私は交差点付近に住んでいるが、平日の毎朝、ボランティアの人が、子供たちの通学時間帯に合わせ、交差点に立って見守り活動をしてきている。あの活動は安心感がある。「交通事故死ゼロの日」にパトカーに乗った警察官が、ボランティアで見守り活動をしている方々に声掛けをすることは、パトロール活動を様々な人々にアピールすることにつながると思う。
委員	・ 夜間、自動車を運転中に気づいたのだが、ライトで照らすと警察官の姿に見える反射材を活用した看板を見た。警察官の姿にみえると、様々な抑止効果があると思うし、私自身もその看板が警察官の姿に見えたため驚いた。本当は、警察官が実際にパトロールする方が良いが、警察官の人数にも限りがあると思うので、看板等を活用すると効果的だと思う。
委員	・ 小学生たちがパトカーに向かって、手を振っている姿を目にする。パトカーに乗っている警察官が、その小学生たちに手を振り返している姿をみると、効果的なパトロールができているように見えるし、子供たちが警察のことを好きになると思う。
委員	・ 不要な119番通報して、業務妨害事件として逮捕されたニュースを見たことがある。警察にも不要不急の110番通報などが、たくさんあると思う。不要不急の110番通報がたくさんあれば、警察官が事件事故に直ぐに対応できないなど、パトロール活動の妨げとなると思う。不要不急の110番通報がなくなるような広報をするといいと思う。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨

9 答申

(1) 地域住民と一体となったパトロール活動の実施

(2) 地域住民に安心感を与える効果的な情報発信

10 その他

次回の開催予定は、令和6年4月25日(木)とする。

記録者

警務係長